

中学校第2学年 学級活動学習指導案

1 題材名 がんについての学習を通して命の大切さについて考える

2 本時のねらい

自分の家族が「がん」になった場合を想定した意見交流を通して、保健学習（がんの疾病概念や予防、早期発見の大切さ等）をもとに、家族のために自分にできそうなことを考えることができる。

(思考・判断・表現)

3 本時の展開

避	○学習内容 「・」予想される生徒の思考	◇教師の指導 ※留意事項
導入	<p>○講師紹介</p> <p>1 既習事項の確認、課題づくり</p> <p>○自分の家族が「がん」と言われたとき、どのようなことを思うのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期発見なら90%以上が治ると言われているけれど、自分の家族は治るのだろうかと不安になる。 ・家族のためにできることを探す。 	<p>※外部講師を紹介し、日頃からがん患者等と接していることを紹介し、不安や想像した心のつらさについて一緒に考えてもらえることを伝えることで、安心感を高める。</p> <p>◇既習の内容を簡潔に振り返ったうえで「もし自分の家族が『がん』と診断されたら？」と問うことで、自分事として想像し、主体的に考えられるようにする。</p>
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分の家族が「がん」になったとき、家族のために自分にできそうなことを考えよう。 </div>	
展開	<p>2 自分の家族が「がん」に関する宣告を受けた時、自分はどう向き合っていくのか考える。</p> <p>〔個人で考え作り〕→〔グループ交流〕→〔全体交流〕</p> <p>○ロールプレイ①を見る。</p> <p>ケース①検査結果から親が大腸がんだと宣告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで迷惑をかけてきたから、これからは自分が支えていきたい。 ・治療に専念できるように、親のために自分ができることは自分でしよう。 ・がんと闘う親を応援したい。味方でいたい。 ・変わらずに接したい。 <p>○自分たちが考えた意見に対して外部講師の話聞く。</p> <p>○ロールプレイ②を見る。</p> <p>ケース②親の大腸がんが末期でこの先長くないと宣告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで辛い生活を見てきたから最後は、親の望む生活を叶えてあげたい。しっかり見守りたい。 ・最後まで諦めたくない。自分が親のためにできることは全てしたい。 ・限りある命を、大切にしたい。 	<p>※身近な人を「がん」で亡くしたり、現在、家族が闘病中の生徒がいたりするため、授業中は本人の様子を観察するなど配慮する。</p> <p>◇ロールプレイで「がんの宣告」、「末期の宣告」を受けることを通して、親とどう向き合っていくのか問い、自分事として主体的に考えることができるようにする。</p> <p>※生徒の考えること一つ一つが命の大切さを考えていることだと価値づけるために、外部講師には班、全体交流で出る意見を尊重してもらう。</p> <p>◇家族の「がん」宣告を通して、自分にできることを考える姿や家族を思う気持ちを価値づける。</p> <p>◇家族の「がん」宣告を通して、自分の命を大切にすることにまで交流できている所を紹介し、振り返りにつなげる。</p>
37	<p>3 振り返り（学びをつなげる）個人→全体交流</p> <p>○本時を振り返り、家族ががんと診断された場合に、自分にできそうなことをまとめる。また、命を大切にすることについて自分の思いをまとめ、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の思いに寄り添い、自分にできることをやっていきたい。そのためにも、日頃から自分の思いを伝え合う関係を築いていきたい。 ・家族の命はもちろん、自分の命も大切にこれから先、生活していきたい。 	<p>◇学習したことを家庭で話し、感想をもらうようにすることで、健康の大切さについてより深く考えることができるようにする。</p>
44		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】思考・判断・表現</p> <p>家族ががんと診断された場合に自分にできそうなことをワークシートに記述している。</p> </div>
まとめ		